

第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成17年9月30日(金) 5校時
児 童 男2名 女3名 計5名
指導者 佐藤 成子

- 1 単元名 くらべてよもう
教材名 じどう車くらべ(光村図書1年上)

2 単元について

1年生は、7月にはじめての説明的文章「いろいろなくちばし」を学習した。ここで、子どもたちは、説明されていることを読み取り、大事な言葉にサイドラインを引くことを学んだ。また、絵や文章から、想像をふくらませ、より深く読み取ろうとした。特に、女子は、気がついたことをいろいろなものにたとえて話すことが出来た。また、説明的文章の基本的なパターンである「問い→答え」のパターンとその文型を学び、その後の広める学習の作文の活動や他教科への広がりが見られるようになった。しかし、基本的な文型を理解し始めたばかりで、主体的に、絵や文から内容の大体を読み取り、興味関心を持って自分から進んで、本を読んで調べたり、学習したことを生かそうとしたりという点についてはまだまだである。

第1学年および第2学年の「読むこと」の指導目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら、読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。子どもたちに親しみやすい身近な「自動車」を取り上げることで、主体的活動を促しながら、「しごと」と「つくり」に着目して、読みのねらいを明確にして、楽しい読みを体験し、確かな言語能力が身につけていくことができるように本教材の構成を考えた。

本単元は、前書きの部分で児童の関心をいろいろなじどう車に誘い、そして、それぞれのじどう車がどんな「しごと」をして、そのためにどんな「つくり」になっているかを問いかけて、読者に疑問や着眼点が芽吹くようになっている。そして、次の段落からは、三種類のじどう車の説明が「しごと」と「つくり」についてのまとまりになって構成されている。三種類のじどう車も子どもの身近なものが多く、話の内容が想像しやすいものとなっている。

後半のじどう車図鑑を作る活動では、子どもが、教材文で学んだことを生かしながら、興味のあるほかのじどう車を選んで、それについて書くという広げる活動ができるようになっている。興味のある身近なじどう車という題材を通して、興味関心を持って、具体的に絵や文から内容の大体をつかめるように思考を展開するのに適した教材である。

指導にあたっては、「読むこと」における本校の低学年のめざす目標「絵や文から、時間的順序や事柄的順序を中心に内容の大体をつかむことができる」ことを達成するため、前書きの問いかけの文章によって疑問や語句に着目した問題意識を持たせ、興味をもって読み進めるようにしていきたい。また、「しごと」と「つくり」の文のまとまりに気付き、「そのために」の言葉の役割を考えさせたりしながら、繰り返し読むことで、説明文の構成や言葉の使い方にも慣れさせるようにしたい。繰り返して本教材の文章構成(しごと→そのために→つくり)にふれ、考えを深めていくことで、説明文の文型が自然に身につく、内容の大体をつかむことが出来ると考える。その後の広める学習でも、自分で選んだじどう車についての説明文を作るといった学習活動につなげていくことで基本文型の定着を図るようにしたい。また、大事な言葉にサイドラインを引く活動を繰り返し行うことで、キーワードに着目できる目を育てていくことができると考える。

なお、学習する文章が長くなり、漢字やかたかなも多く出てくるようになってきているので、音読や視写が雑にならないように、丁寧にするよう声がけをしていきたい。

3 研究での仮説とのかかわり

- ・単元の中で繰り返し同じような学習の流れをして、説明的文章の基本文型を身に付けさせることで絵や文から内容の大体を読み取る力を身につけさせる。

(仮説1 指導内容を重点化した繰り返し指導)

- ・「しごと」「つくり」に分けて大事な言葉に着目させながら、文章を読みとらせる。

(仮説2 キーワードをもとに読み取る指導の工夫)

4 単元の目標

国語への関心・意欲・態度	じどう車の「しごと」と「つくり」の関係に興味を持って、いろいろな本を探して読もうとしている。
読むこと	三種類のじどう車についてしごととつくりの関係を考えながら、内容の大体を読むことができる。(イ) 語や文のまとまりを考えながら声に出して正しく読むことができる。(エ)
書くこと	教材文を参考にして、簡単な組み立てを考えながら、好きなじどう車のしごととつくりを説明する文を書くことができる。(ウ)
言語事項	かたかなで書く語を読んだり書いたりすることができる。(イ - (ア))

5 学習計画 (10時間)

段階	学習内容	時間	評価規準
つかむ 3	1 じどう車について知っていることを話し合い、「じどう車くらべ」について興味をもつ。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・じどう車について知っていることを発表する。(発言)【関】
	○ いろいろなじどう車があることを挿絵や友達の話聞いて気付く。		
	○ 教材文からじどう車の「しごと」と「つくり」についてくらべていくことを知り、学習計画をたてる。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・全文を読み、じどう車の「しごと」と「つくり」についてくらべていくことに気付き、じどう車くらべの学習に意欲をもつ。(発言)【関】
	○ 全文視写をする。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な字でノートに全文視写をする。(ノート)【書】

ふかめる 3	<p>2 それぞれのじどう車の「しごと」と「つくり」について読み取る。</p> <p>○ 「バス」や「じょうよう車」の段落を読み、「しごと」と「つくり」の関係について理解する。</p> <p>○ 「トラック」の段落を読み、「しごと」と「つくり」の関係について理解する。 【本時】</p> <p>○ 「クレーン車」の段落を読み、「しごと」と「つくり」の関係について理解する。</p>	1 1 1	<p>・「バス」や「じょうよう車」の「しごと」がわかり、そのためにどんな「つくり」になっているかを理解している。 (ワークシート・発表) 【読】</p> <p>・「トラック」の「しごと」がわかり、そのためにどんな「つくり」になっているかを理解している。 (ワークシート・発表) 【読】</p> <p>・「クレーン車」の「しごと」がわかり、そのためにどんな「つくり」になっているかを理解する。 (ワークシート・発表) 【読】</p>
まとめる 1	<p>3 「はしご車」について説明する文を書き、学習したことを確かめる。</p> <p>○ 「しごと」をするためにどんな「つくり」になっているか話し合い、説明文を書く。</p>	1	<p>・「はしご車」の「しごと」がわかり、そのためにどんな「つくり」になっているか話し合い、「はしご車」について説明文を書いている。 (ワークシート・発表) 【書】</p>
ひろめる 3	<p>5 自分が選んだじどう車について「しごと」と「つくり」を考え、教材文のような文を書く。</p> <p>○ 自分たちの選んだじどう車を比べあい、「しごと」と「つくり」について気付いたことを発表しあう。</p> <p>○ 自分が選んだじどう車の説明文を書き、じどう車図鑑を完成させる。</p>	1 2	<p>・選んだじどう車の絵や写真から気付いたこと、「しごと」と「つくり」について知っていること、気付いたことを発表しノートに書いている。 (発表) 【読・書】</p> <p>・選んだじどう車について教科書の文をモデルに説明文を書いている。 (ワークシート) 【書・言】</p>

6. 本時の指導

(1) 目標

- ・ 絵や文から、トラックの「しごと」がわかり、そのためにどんな「つくり」になっているか理解することができる。

(2) 授業仮説

前時の学習と同じように「～はしごとをしています。」や「そのために～います。」の言葉に着目させながら、学習を進めることで、主体的にじどう車の「しごと」と「つくり」を関連させながら、読み取るうとするであろう。
(仮説1・2)

(3) 展開

前時の活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵などからバスやじょうよう車の特徴を読み取る。(仮説1) ・ バスやじょうよう車のしごとを読み取る。(仮説1, 2) ・ 「そのために」に着目しながら、つくりについて読み取る。(仮説1, 2) ・ 「ひろくつくってある」や「大きなまどがたくさん」を大事な言葉としてとらえる。(仮説2) 			
階	学習活動	学習内容	指導上の留意点◇評価
つかむ 7分	<p>1 前時の学習を振り返る。 バスやじょうよう車の学習を振り返る。</p> <p>2 学習課題をつかむ。</p>	<p>前時の学習した文が、「しごと」の文と「つくり」の文になっていたことを思い出す。</p> <p>学習する範囲を音読する。</p> <p>学習課題を知る。</p>	<p>・バスやじょうよう車について、学習したことを思い出させることで、本時も繰り返して同じ学習の流れで進むことを理解させる。(仮説1)</p>
	<p>トラックはどんなしごとをしていますか。 そのために、どんなつくりになっていますか。</p>		
ふかめる 33分	<p>3 トラックのしごとについて読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラックですることについて発表する。 ・トラックの仕事を読み取る。 <p>4 トラックのつくりについて読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラックが運ぶものを考え、発表する。 ・トラックはどんなしごとをするじどう車なのか本文から見つける。 にもつをはこぶしごとをしています。 ・「そのために」どんなつくりになっているのか発表する。 ・ひろいにだいになっている。 ・おもいにもつをはこぶトラックはタイヤがたくさんある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラックの運ぶものについて、気付いたことを発表させていきたい。同じ意見でも、5人全員が発表する。 ・教科書の文からトラックのしごとの文を見つけ、ワークシートに書き入れる。(仮説1) ・前時と同じように「そのために」の言葉に着目させながら、どんなつくりになっているのか考えさせることで、「そのために」が「しごと」と「つくり」をつなぐ役割をしていることへの理解を深めさせる。

	<p>5 課題のまとめをする。</p> <p>・まとめの音読</p>	<p>・ワークシートにトラックのつくりを書き入れる。</p> <p>・学習したことを黒板を見ながら確認し、全員で音読をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>トラックはにもつをはこぶしごとをしています。そのために、にだいがひろくなっています。おもいにもつをはこぶトラックには、タイヤがたくさんついています。</p> </div>	<p>・「広い」という言葉に着目させ、前時のじどう車と比べて、どこが広いのか、また、どうして広いのか、どのくらい広いのかを考えさせることで深く読み取らせる。</p> <p>・タイヤが多くついていることについては、挿絵だけでなく、図鑑などの写真を見せながら、いろいろな種類のトラックがあり、それらを比べることで内容をつかませる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・「ひろいにだい」と「おもいにもつをはこぶトラックにはタイヤがたくさんついています。」を大事な言葉として、とらえさせ、ワークシートに書き込ませる。 (仮説2)</p> </div> <p>・トラックのしごととつくりについて、分かったことを全員で確認することで、定着を図っていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">具体の評価規準</p> <p>A:トラックのしごととつくりについて、どちらも自分の力で教科書から見つけることができる。</p> <p>B:トラックのにもつをはこぶしごととそための「広いにだい」か「タイヤがたくさんついている」の文のいずれかを見つけることができる。</p> <p>C:教材文からしごととつくりについて書いてある文と一緒に探す。</p> </div>
<p>まめる 5分</p>	<p>6. 今日の学習を振り返る</p>	<p>・がんばったことや学習の感想を発表する。 ワークシートへの記入 感想発表</p>	<p>・自分のがんばったことがいえるように声がけをするなどの支援をしていく。</p>
<p>次時の活動</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵などからクレーン車の特徴を読み取る。(仮説1) ・ クレーン車のしごとを読み取る。(仮説1, 2) ・ 「そのために」に着目しながら、つくりについて読み取る。(仮説1, 2) ・ 「丈夫な腕がのびたりうごいたり」や「車体がかたむかないように、しっかりした足がついて」を大事な言葉としてとらえる。(仮説2) 			

(4) 板書計画

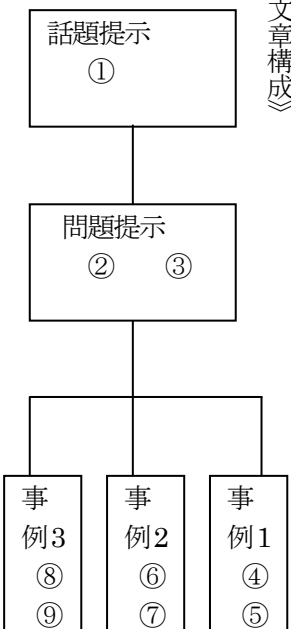
<p>じどう車くらぶ</p> <p>トラックはどんなしごとをしていますか。 そのために、どんなつくりになっていますか。</p>	<p>トラックは、にもつをはこぶしごとをしています。</p> <p>そのために、うんとんせきのほかは、ひろいにだいになっています。</p> <p>おもいにもつをのせるトラックには、タイヤがたくさんついています。</p> <p style="text-align: center;">挿絵</p>	<p>にもつをはこぶしごと。</p>	<p>そのために</p>	<p>にもつ</p>	<p>ひろいにだい おもいにもつをのせるトラックには、 タイヤがたくさん。</p>
---	---	--------------------	--------------	------------	---

教材分析表
 単元名 くらべてよもう
 教材名 じどう車くらべ
 要旨

いろいろなじどう車がある。じどう車は、どんなしごとをしているかによって、そのしごとにあったつくりになっている。

段落	形式段落 小見出し	要点	読み取りに必要なキーワード	重点化した指導内容 関係する言語事項
1	問題提起	いろいろなじどう車が走っている。 どんな仕事をしているか どんなつくりになっているか	いろいろなじどう車 それぞれ どんなしごと そのために そのため	どんないますか そのために
2	バスやじょうようしゃ	バスやじょうよう車は人を乗せて運ぶしごとをしている そのために、座席のところが広く作ってあるし、外の景色が見えるように大きな窓がたくさんある	人をのせてはぶしごと せきのところがひろく つくって 景色がよくみえるように 大きな窓がたくさん	くはししごとをして います。 そのために、 くあります
3	トラック	トラックは、にもつを運ぶしごとをしている。 そのために、運転席のほかはひろいにだいになっているし、タイヤがたくさんついている	にもつをはぶしごと うんでんせきのほかは ひろいにだい おもいにもつ タイヤがたくさん	くはししごとをして います。 そのために、 くいます
4	クレーン車	クレーン車は、おもいものをつり上げるしごとをしている そのために、丈夫な腕がのびたりうごいたりするよう作ってあるし、車体がかたむかないようにしっかりとした足がついている。	おもいものをつり あげる じょうぶなうで のびたりうごいた り しゃたいがかたむ かないように しっかりとあし	くはししごとをして います。 そのために、 くあります くいます くたりくたり

《文章構成》



めざす子ども像	絵や文から、時間的順序や事柄的順序を中心に内容の大体をつかむことができる。					
単元の重点指導内容	説明的文章の基本文型を繰り返し読み、絵や文から内容の大体をつかませる。					
実態	・いろいろなくちばし単元テスト ・「大きなかぶ」を正しく読む ・「大きなかぶ」の内容の大体がわかる	点／100点 ◎ ○ △ ◎ ○ △	・進んで発表する ・正しく書く	◎ ○ △ ◎ ○ △		
初発の感想						
毎時間の評価規準	月日	内容の大体を読む	声に出して正しく読む	関心・意欲・態度	自己評価	備考
いろいろな自動車があることに気付く A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1	◎ ○ △	◎ ○ △	
仕事とつくりについてくらべることを知り、学習計画を立てる。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1	◎ ○ △	◎ ○ △	
全文を読み、仕事とつくりについて書かれていることを知る A B C	/ /	4 3 2 1	4 3 2 1	◎ ○ △	◎ ○ △	
バスや乗用車の仕事とつくりについて理解する A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1	◎ ○ △	◎ ○ △	
トラックの仕事とつくりについて理解する。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1	◎ ○ △	◎ ○ △	
クレーン車の仕事とつくりについて理解する。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1	◎ ○ △	◎ ○ △	
はしご車の仕事とつくりについて理解し、説明文を書く A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1	◎ ○ △	◎ ○ △	
自分の選んだ自動車の仕事とつくりについて理解する。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1	◎ ○ △	◎ ○ △	
自分が選んだ自動車の説明文を書く。 A B C	/ /	4 3 2 1 4 3 2 1	4 3 2 1 4 3 2 1	◎ ○ △ ◎ ○ △	◎ ○ △ ◎ ○ △	
単元の終了（最終の感想）	・じどう車くらべのテスト ・乗り物に関係した本について興味を持って読んでいる		点／100点	・じどう車くらべの内容の大体をつかむ はい・いいえ	◎ ○ △	